

主要産地における令和元年産水稻の生育状況等について 第11報 (7月29日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和元年7月29日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体等公表資料の抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は、やや早く推移している。(北海道農政課 7月15日現在)</p> <p>(空知) 生育は進んでいる。(空知総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(石狩) 生育は、平年に比べてやや遅れている。(石狩振興局 7月15日現在)</p> <p>(後志) 生育遅延日数は5日早い。(後志総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(日高) 7月の気温が低く、生育は平年並みとなった。(日高振興局 7月15日現在)</p> <p>(渡島) 幼穂形成期は平年よりやや早く進んだ。一部地域では水不足の影響により生育は遅れている。(渡島総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(樺山) 生育は平年より早い。(樺山振興局 7月15日現在)</p> <p>(上川) 生育の遅延は、平年並に推移している。(上川総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(留萌) 生育は早く進んでいる。(留萌振興局 7月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年より進んでいる。(オホーツク総合振興局 7月15日現在)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>北海道地方では、7月31日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+3.3℃以上)になる見込み。(気象庁 7月25日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>
青森	(生育)	<p>(7月20日現在の生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(黒石) つがるロマンは草丈が62.1cmで平年より7.6cm 短く、株当たりの茎数は30.2本で平年よりも1.3本多く、葉数は11.6葉で平年よりも0.1葉少なかった。幼穂形成期の到達日は7月12日で平年並だった。「青天の霹靂」は草丈が68.7cmで平年より6.4cm 短く、株当たりの茎数は24.6本で平年より2.2本少なく、葉数は10.5葉で平年より0.2葉少なかった。幼穂形成期の到達日は7月9日で平年より1日早かった。</li> <li>・(十和田) 「まっしぐら」の生育状況は草丈が66.3cm、株当たりの茎数は29.6本だった。</li> <li>・(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所 7月23日付)</li> </ul>	<p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方では、7月31日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.8℃以上)になる見込み。(気象庁 7月25日14時00分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手	(生育)	<p>(7月25日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業研究センター(北上) 全品種とも、草丈は平年を下回っており、茎数、葉数は概ね平年並みで、葉色(SPAD値)は「ひとめぼれ」、「あきたこまち」では概ね平年並みで、「銀河のしずく」では平年を下回っている。また、「あきたこまち」、「銀河のしずく」とも7月24日(平年より1日遅い)に減数分裂期に達した。</li> <li>・東北農業研究所(軽米) 「いわてっこ」では、草丈、茎数は平年を下回っている。葉数は平年並みで、葉色(SPAD値)は平年を上回っている。(岩手県農業研究センター 7月26日付)</li> </ul>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p>
宮城	(生育)	<p>(7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県全体の生育調査は、幼穂長は、25.5mm(平年差-33.5mm)となっており、間もなく減数分裂期に達するほ場が多い。なお、今後の気温が平年並みで推移した場合、北部平坦地帯における「ひとめぼれ」の出穂期は8月4日頃になる見込み。</li> <li>・県全体の生育は、草丈が65.1cm(平年比91%)、1㎡当たりの茎数が544本(平年比104%)、葉数11.7枚(平年差-0.4枚)、葉色を示すGMI値が38.0(平年差+3.4)となっており、草丈がやや短いものの概ね順調な生育となっている。(宮城県 7月22日付)</li> </ul>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p>
秋田	(生育)	<p>(北秋田) 7月15日現在の生育は、草丈が60.9cm(平年比96%)、茎数が562本/㎡(同比97%)、葉数が11.5葉(同差+0.3葉)、葉色値が41.2(同比102%)となっている。多くのほ場で幼穂形成期を迎えており、平年より早く進んでいる。(7月26日付)</p> <p>(秋田) 7月25日現在の水稻定点調査(あきたこまち10か所)では、草丈75.1cm(平年比98%)、葉数472本/㎡(同比103%)、葉数12.5葉(同差+0.1葉)となっている。ほ場間差が激しく、すでに出穂しているほ場も見られる。(7月26日付)</p> <p>(平鹿) 7月25日現在の水稻定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈68.5cm(平年比90%)、葉数506本/㎡(同比104%)、葉数12.5葉(同差+0.2葉)となっている。(7月26日付)</p> <p>(由利) 7月25日の水稻定点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は68.4cmと平年より短く(平年比93%)、㎡あたり茎数は471本で少なく(平年比94%)なっています。今後の気温が平年並みで推移すれば定点平均の出穂期は平年より3日早い8月2日頃になると見込まれる。(7月26日付)</p> <p>(山本) 7月25日現在の水稻定点調査(管内10か所、品種：あきたこまち)における生育状況は、草丈70.8cm(平年比95%)、葉数549本/㎡(同比114%)、葉数12.4葉(同差+0.1)、葉色34.3(同比88%)となっている。(7月26日付)</p> <p>(鹿角) 7月16日の水稻定点調査では、草丈が55.3cm(平年比88%)で短く、㎡当たり茎数は632本(平年比110%)で多く、葉数は10.8葉(平年差-0.2葉)で2日程度の遅れ。葉色はSPAD値41.7(平年比100%)で平年並。(7月19日付)</p> <p>(雄勝) 生育は平年よりも2～3日早い見込み。(7月12日付)</p> <p>(仙北) 7月25日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈が68.4cm(平年比93%)、葉数は566本/㎡(平年比120%)、葉数は12.5葉(平年差+0.5葉)、葉緑素計値は36.6(平年差-1.4ポイント)となっている。(7月26日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p>
山形	(生育)	<p>(7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はえぬぎ」の生育は、草丈は短く、茎数はやや多く、葉数はやや少なく、葉色は平年並。</li> <li>・「つや姫」の生育は、草丈は短く、茎数はやや多く、葉数、葉色は平年並。</li> <li>・「響若丸」の生育は、草丈は指標値より短く、茎数は多く、葉数はやや少なく、葉色は指標値並。</li> </ul> <p>(山形県農林水産部 7月24日)</p> <p>(最上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月19日現在、全般的に草丈が平年並からやや短く、茎数・葉色は概ね平年並。出穂期は平年並からやや遅れる見込みだが、一部の地域や品種では早まる傾向がある。生育は良好で、茎数が平年並みから多く、葉色は平年並みから濃い状況。出穂の時期は平年並の見込み。(最上総合支庁農業技術普及課 7月26日付)</li> <li>・(鶴岡田川) (出穂期予測 7月19日幼穂調査、庄内普及課)</li> <li>・「はえぬぎ」「響若丸」では平年並、「つや姫」では3日程度早まる見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月25日付)</li> </ul> <p>(北村山)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の出穂期は平年並み、中山間・山間部は2日程度遅れる見込み。(北村山農業技術普及課 7月24日付)</li> </ul>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p> <p>・斑点米力メシ類の県下全域での発生量はやや多い予報。(山形県病害虫防除所 7月11日付)</p>
福島	(生育)	<p>(1) 作況ほ場および肥料・農業展示ほ場の生育状況(7月12日現在 郡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年並では全般的に、草丈は短く、茎数は多く、葉色はやや濃い状況。葉数はやや少なく、幼穂形成はほぼ平年並の見込み。湖南地区では、草丈は短く、茎数は多く、葉色は並～やや濃い状況。葉数はやや多く、7月12日時点で幼穂形成期となっている。</li> </ul> <p>(2) 福島県農業総合センター生育概況(7月12日現在 郡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作柄解析試験(慣行栽培、5月15日移植)では、7月9日現在、草丈は並～やや短く、茎数はやや多く、出葉は2日程度遅れ、葉色はややく推移している。ひとめぼれ・天のつばは、幼穂形成期となっている。</li> </ul> <p>(郡山市 7月18日)</p> <p>(7月2日現在、農業総合センターの生育調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本郡(郡山)では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主稈葉数はやや少なく、葉色は濃くなっている。</li> <li>・会津地域研究所(会津坂下)では、草丈は平年並、茎数は平年より少なく、主稈葉数は少なく、葉色は濃くなっている。</li> <li>・浜地域研究所(相馬)では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主稈葉数は平年並、葉色は品種間差がある状況。</li> <li>・コシヒカリの主稈葉からみた生育は、本郡と会津地域研究所では平年より最大3日の遅れ。</li> <li>・浜地域研究所では1日早く進んでいる。今後の天候によるが、幼穂形成期は各地域とも平年並と見込まれている。</li> </ul> <p>(福島県 7月5日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p>

生育状況等		
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(対平年遅速) あきたこまちは5日程度遅い、コシヒカリ7日程度遅い、ふくまるは5日程度遅い。</li> <li>・(生育ステージ) あきたこまちは出穂期、コシヒカリは減数分裂期、ふくまるは出穂期。</li> </ul> <p>(水戸市 5月10日移植 7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(対平年遅速) コシヒカリは5日程度遅い。</li> <li>・(生育ステージ) コシヒカリは減数分裂期。</li> <li>(茨城県農業総合センター 7月22日付)</li> </ul> <p>(生育)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 7月16日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(対平年遅速) あきたこまちは5日遅い、コシヒカリは9日遅い、ふくまるは9日遅い。</li> <li>・(生育ステージ) あきたこまちは出穂期、コシヒカリは減数分裂期、ふくまるは穂ばらみ期。</li> </ul> <p>(龍ヶ崎市 5月7日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(対平年遅速) あきたこまちは9日遅い、コシヒカリは8日遅い。</li> <li>・(生育ステージ) あきたこまちは穂ばらみ期、コシヒカリは幼穂形成期。</li> <li>(茨城県農業総合センター 7月22日付)</li> </ul>	<p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>関東甲信地方では、7月31日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+1.9℃以上)になる見込み。(気象庁 7月25日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>
栃木	<p>(7月19日調査結果) (全体の生育) (11か所平均：平年値F→欠、及び生育不良地点除く)</p> <p>早稲栽培の出穂は平年並～2日程度早い見込み。普通稲栽培の生育はやや遅れている。</p> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早稲栽培(品種：コシヒカリ)</li> <li>・草丈は短く(平年比91%)、茎数はバツつきが大きい(平年比81～152%)。葉色はやや濃い(-0.3)ため、生育診断値(葉色×茎数)はやや小さい(96%)。葉齢は-0.2葉少なく、幼穂長は5.5cmで平年より4.4cm短い。</li> <li>・普通稲栽培(あさひの夢)</li> <li>・草丈は48.0cmで平年並(79%)、茎数は410本/m<sup>2</sup>で平年より少ない(84%)。葉齢は9.2で平年より-1.5葉少ない。葉色は4.6&lt;0.2低い。生育診断値(葉色×茎数)は1.946で平年より小さい(83%)。</li> </ul> <p>(栃木県 7月23日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報(同上)</li> <li>・いもち病の発生はやや多い予想(栃木県農業指導センター 7月19日)</li> </ul>
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月も低温、喜雨が続いたため、全品種とも生育が遅れ、平年より出穂が3～4日程度遅くなっている。成熟期は4月20日植えの「ふさおとめ」が8月14日頃から、「ふさこがね」は8月19日頃から、「コシヒカリ」は8月26日頃からと予測される。また「コシヒカリ」は、出穂がバラつく場合があるので、成熟期の判定には注意が必要。</li> </ul> <p>(千葉県 7月25日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報(同上)</li> <li>・いもち病(穂いもち)の発生量はやや多の予想。(千葉県農林総合研究センター 7月12日付)</li> </ul>
新潟	<p>(7月25日現在の生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コシヒカリの葉色は、指標値(生育のめやす)に比べ「並」の状況。ただし、一部地域では葉色が淡くなっている。</li> <li>・長岡市に設置した調査ほ場の早生品種つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきの葉色は、指標値に比べ、それぞれ「濃い」「並」「並」の状況。</li> </ul> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コシヒカリの出穂期(県平均)は、平年に比べて1日早く8月4日の見込み。ただし、今後の高温で早まる可能性がある。</li> <li>・こしいぶきは、平年に比べて2日早く7月25日と見られる。</li> </ul> <p>(新潟県 7月26日付)</p> <p>(佐渡) (コシヒカリ 7月17日現在)</p> <p>茎数は目標値より多い。葉色は濃いのが、前回調査時より4ポイント低下しているほ場がある。(佐渡農業普及指導センター 7月18日付)</p> <p>(岩船) (コシヒカリ 7月25日現在)</p> <p>草丈：並～やや短葉色：並～やや淡(地域：ほ場間差大)、草丈は、指標値並からやや短めに推移しているが、低位節間は伸長して長めとなっている。(村上農業普及指導センター 7月25日付)</p> <p>(上越) (7月25日現在)</p> <p>出穂は平年より早まる見込み。(5/10～15の田植えでは8月2日頃が出穂期の見込み。(上越農業普及指導センター 7月25日付)</p> <p>(南魚沼) (7月25日調査) (JA、普及センター生育調査地点27地点の平均、&lt;内&gt;は指標値との比較)</p> <p>草丈：78 cm&lt;97%並&gt; 葉色：33.7 SPAD 値&lt;+1.2 やや濃い&gt; 茎数：412本/m<sup>2</sup>&lt;106% やや多い&gt; 葉齢：12.5葉&lt;-0.4 やや早い&gt; (南魚沼農業普及指導センター 7月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は少なく、日照時間は多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月18日に山形県沖で発生した地震により、農地14か所(村上市、関川村、阿賀町)で田崩落、田面に亀裂。(新潟県 7月25日12時現在)</li> </ul>
富山	<p>(本田での生育状況)</p> <p>「てんたかく」5月5日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日早い7月20日頃と見込まれる。成熟期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日早い8月25日頃と見込まれる。出穂期は7月20日頃になると見込まれる。</p> <p>・コシヒカリ</p> <p>平年に比べて、草丈、葉色は並み、茎数はやや多く、葉齢は0.2葉少なくなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月10日となった。出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より2日早い7月31日頃と見込まれる。</p> <p>・てんこもり</p> <p>平年に比べて、草丈、葉色は並み、茎数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より4日早い7月10日となった。出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より4日早い8月1日頃と見込まれる。</p> <p>・富富富</p> <p>前年に比べて、草丈、葉色は並み、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、前年より1日早い7月12日となった。今後、気温が平年並みに推移すると、出穂期は、前年並みの8月2日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県 農業技術課広域普及指導センター 7月17日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報(同上)</li> </ul>
石川	<p>(本田の生育 7月18日調査)</p> <p>(出穂期予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめみづほは近年に比べ2～3日早く、加賀地域、能登地域のいずれも既に出穂期となっている。</li> <li>・能登ひかりは近年に比べ1日早いと見込まれる。</li> <li>・コシヒカリは、加賀地域は平年に比べ4日早く、能登地域は平年に比べ3日早いと見込まれる。</li> <li>・ひやくまん穀は、加賀地域で近年に比べ4～6日遅く、能登地域は近年に比べ3日早いと見込まれる。</li> </ul> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめみづほ(加賀) 7月15日～7月18日、(能登) 7月18日頃。</li> <li>・能登ひかり(能登) 7月23日頃。</li> <li>・コシヒカリ(加賀) 7月24日～7月31日、(能登) 7月30日～8月2日。</li> <li>・ひやくまん穀(加賀) 8月3日～8月10日、(能登) 8月7日頃。</li> </ul> <p>(石川県農林総合研究センター 7月22日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報(同上)</li> </ul>
福井	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植のコシヒカリは早いところで7月10日前後に幼穂形成期を迎えている。</li> <li>・移植のハナエチゼンは出穂期を迎えようとしている。</li> </ul> <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月11日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報(同上)</li> </ul>
長野	<p>(農業試験場八重森圃場(標高340m))</p> <p>移植後40日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。前年の同時期の生育量とほぼ同等である。幼穂形成期は平年よりやや遅れた。(長野県農業試験場 7月19日現在)</p> <p>(標高1017m原科の原科試験地における水稲生育状況)</p> <p>移植後50日調査では、7月上旬の低温の影響から前回調査時と比べてやや葉数進展、草丈の伸びが遅れた。茎数はやや回復したものの平年よりかなり少ない。幼穂形成期はいずれの品種も低温、低日照により遅れたと考えられる。(長野県農業試験場 7月25日現在)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>北海道地方では、7月31日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+3.3℃以上)になる見込み。(気象庁 7月25日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向う1か月の葉いもちの発生量は平年並～やや多い予想。(長野県病害虫防除所 7月17日)</li> </ul>

	生育状況等	
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作況調査（5月10日移植）では、「みずかがみ」の生育は6月上旬までは平年並であったが、6月中旬以降は茎数が平年より少なくなっている。「コシヒカリ」の生育は平年並である。</li> <li>・幼穂形成期は、「みずかがみ」は6月29日と平年並、「コシヒカリ」は7月1日と平年より2日早く、「みずかがみ」では、7月20日頃に出穂期を迎える見込み。</li> <li>・県内ほ場では、移植日やほ場条件による生育の差は見られるものの、概ね平年並の生育となっている。（滋賀県 7月9日付）</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で少なく、太平洋側で平年並か少ない見込み。 日照時間は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p>
兵庫	<p>（6月25日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県北 葉齢の進展は平年よりやや早い。草丈はやや短く、茎数は少ない。 遅植えでは葉齢の進展はやや遅く、草丈、茎数は平年並である。</li> <li>・県南 葉齢の進展は平年よりやや早く、草丈は平年並からやや低い。茎数は多い。 （兵庫県 7月4日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報（同上）</li> <li>・向う1か月間のいもち病の発生量はやや多い予想。 （兵庫県病害虫防除所 7月22日）</li> </ul>
岡山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p>
広島		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報（同上）</li> </ul>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p>
高知	<p>（7月15日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培の作柄はやや不良が見込まれる。（農林水産省 7月26日付）</li> </ul> <p>（7月4日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期稲 出穂期は、4月5日植え「南国そだち」では平年並み、4月5日植えの「コシヒカリ」では平年よりやや早く、4月15日植え「コシヒカリ」では平年並みの時期。4月5日植え「よさ恋美人」は同時期移植の「コシヒカリ」より6日早く出穂期を迎えた。</li> <li>・普通期稲 草丈は平年並み、茎数は平年植に比べやや少ないが、葉齢は平年並みで生育している。 （高知県農業技術センター 7月12日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節予報（同上）</li> <li>・水稲（普通期稲）のいもち病（葉いもち）の発生量は、やや多（中西部）の予想（高知県病害虫防除所 7月4日）</li> <li>・早期稲の出穂期のすくい取り調査では、1ほ場あたりの播種頭数は平年よりも多く、特に県中央部では平年の約4倍、葉齢で約2倍と、平年を大きく上回っている。 （高知県病害虫防除所 7月16日）</li> </ul>
福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ） 生育は順調で有効茎が確保され、中干し時期となっている。4月下旬植えの出穂期は平年より2～3日早い7月中旬の見込み。</li> <li>・普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど） 5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温で経過したため活着が良く生育は順調。 降雨が少ないため、一部地域では、田植えが平年に比べて3日～1週間程度遅れている。 表取穂後でも田植えが滞り、平坦地の「夢つくし」は6月上旬中、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が収穫期となる見込み。 （福岡県農林総合試験場 6月14日付）</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p>

生育状況等	
熊 本	<p>・季節予報（同上）</p> <p>・早稲え水稲の稈いもちの発生量はやや多の予報。 （熊本県病害虫防除所 7月2日付）</p>
宮 崎	<p>(7月15日現在)</p> <p>・早期栽培の作柄はやや不良が見込まれる。（農林水産省 7月26日付）</p> <p>(作物の生育状況) (7月中旬)</p> <p>・普通期水稲は分けつ期。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 7月26日付）</p> <p>(生育)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月27日～8月26日】 九州南部地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p>
鹿 児 島	<p>(7月15日現在)</p> <p>(作柄)</p> <p>・早期栽培の作柄は平年並が見込まれる。（農林水産省 7月26日付）</p> <p>・季節予報（同上）</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：前期からの更新箇所は赤字で示した。  
注3：令和元年7月29日15時時点での取り纏め。

参考・引用資料:

令和元年度産水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月26日)、

農作物の生育状況 7月15日現在(北海道 7月18日)、農作物生育状況 7月15日現在(北海道空知総合振興局 7月18日)、  
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道後志総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道石狩振興局 7月18日)、  
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道胆振総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道日高振興局 7月18日)、  
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道渡島総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道檜山振興局 7月18日)、  
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道上川総合振興局 7月18日)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在(北海道留萌振興局 7月18日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月18日)、  
作況調査報告(7月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 7月19日)、  
令和元年度水稲生育定期調査結果No.5(7月25日現在)(岩手県農業研究センター 7月26日)、  
令和元年度産水稲の生育状況について(7月19日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 7月22日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 7月26日)、  
当面の技術対策(8月)(山形県農林水産部 7月24日)、  
おいしい米づくり技術情報No.11(庄内総合支庁農業技術普及課 7月25日)、  
稲作だより第9号(最上総合支庁農業技術普及課 7月26日)、  
稲作だより第9号(北村山農業技術普及課 7月24日)、  
主要な農作物の生育情報令和元年度第4号(福島県農林水産部 7月5日現在)、  
「こおりやまの米」通信(郡山市 7月18日)、  
農研速報龍ヶ崎(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月22日)、  
農研速報水戸(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月22日)、  
令和元(2019)年度水稲生育診断予測事業速報No.5(栃木県 7月22日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第6報(千葉県農林水産部 7月25日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(第7号)(新潟県農林水産部 7月26日)、  
稲作生育速報No.6(佐渡農業普及指導センター 7月18日)、  
コシヒカリ生育速報(上越農業普及指導センター 7月25日)、  
岩船米生育速報(7月25日現在)(村上農業普及指導センター)、  
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.5(南魚沼農業改良普及センター 7月25日)、  
TACS情報第8号(富山県農業技術課 7月17日)、  
令和元年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-8号)(石川県農林総合研究センター 7月18日調査)、  
稲作情報No.11(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月11日)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 7月19日現在)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 7月24日現在)、  
令和元年度水稲生育診断情報No.3(滋賀県農業技術振興センター 7月9日)、  
兵庫県農業気象技術情報第2号(7月情報)(兵庫県 7月4日)、  
水稲の生育概況(令和元年度)(高知県農業技術センター 7月12日)、  
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 6月14日現在)、  
平成31年度病害虫発生予報第4号について(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 7月26日)、

令和元年度農作物有害動物植物発生予察情報注意報第2号(山形県病害虫防除所 7月11日)、  
令和元(2019)年度病害虫発生予報第4号(栃木県農業環境指導センター 7月19日)、  
令和元年度病害虫発生予報第4号(千葉県農林総合研究所 7月10日)、  
病害虫発生予報第4号(長野県病害虫防除所 7月17日)、  
令和元年度病害虫発生予報第3号(兵庫県病害虫防除所 7月22日)、  
令和元年度病害虫発生予察注意報第1号(高知県病害虫防除所 7月16日)、  
令和元年度病害虫発生予察情報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 7月2日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月25日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月25日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月25日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月25日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月25日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月25日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月24日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月24日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月24日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月24日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月24日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月24日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月24日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月24日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(気象庁 7月25日)、

新潟県報道資料 被害速報第20号(新潟県災害対策本部 7月25日)